

別表(1)

## 教育課程及び授業日時数

ファッションビジネス科

課 程		専 門 課 程	単 位 表 示		
学 科		ファッションビジネス科			
科 目		第 1 学 年	第 2 学 年	第 1 学 年	第 2 学 年
一 般 科 目	1 コミュニケーション活動Ⅰ	60		2	
	2 コミュニケーション活動Ⅱ		30		1
	3 I T 活 用	30		1	
専 門 科 目	4 ファッションビジネス論	30		1	
	5 モ ー ド 史 Ⅰ	30		1	
	6 モ ー ド 史 Ⅱ		30		1
	7 ファッションブランド研究Ⅰ	30		1	
	8 ファッションブランド研究Ⅱ		30		1
	9 マーケティングリサーチ	30		1	
	10 セールスプロモーションⅠ	30		1	
	11 セールスプロモーションⅡ		30		1
	12 コピーライティング		30		1
	13 デザイン発想Ⅰ	30		1	
	14 デザイン発想Ⅱ		30		1
	15 マーチャンダイジング	60		2	
	16 V M D	30		1	
	17 ファッションデザイン画Ⅰ	30		1	
	18 ファッションデザイン画Ⅱ		30		1
	19 アパレル素材論Ⅰ	30		1	
	20 アパレル素材論Ⅱ		30		1
	21 服飾造形Ⅰ	90		3	
	22 服飾造形Ⅱ		60		2
	23 色 彩 学	60		2	
	24 パーソナルカラーⅠ	30		1	
	25 パーソナルカラーⅡ		30		1
	26 コミュニケーション技法	30		1	
	27 接客マナーⅠ	60		2	
	28 接客マナーⅡ		60		2
	29 ラッピング装飾	30		1	
	30 外国語接遇		30		1
	31 スタイリングワークⅠ	30		1	
	32 スタイリングワークⅡ		30		1
	33 ヘアメイク実習Ⅰ	30		1	
	34 ヘアメイク実習Ⅱ		30		1
	35 ショップマネージメントⅠ	30		1	
	36 ショップマネージメントⅡ		30		1
37 ビジネスプランニングⅠ	30		1		
38 ビジネスプランニングⅡ		60		2	
39 実 習 店 舗		60		2	
特 別 科 目	40 キャリアプランⅠ	30		1	
	41 キャリアプランⅡ		30		1
	42 インターンシップⅠ	30		1	
	43 産学連携プロジェクトⅠ	30		1	
	44 産学連携プロジェクトⅡ		30		1
	45 卒 業 研 究		180		6
	46 ファッションビジネス特別実習Ⅰ	30		1	
	47 ファッションビジネス特別実習Ⅱ		30		1
	48 研 修 旅 行		60		2
	49 インターンシップⅡ		60		2
選 択 科 目	50 ボランティア活動		60		2
	51 チャレンジプログラムⅠ	30		1	
	52 チャレンジプログラムⅡ		30		1
	53 チャレンジプログラムⅢ		30		1
	単 位 合 計			32	32
年 間 履 修 時 間 数	960	960			
年 間 授 業 日 数	180	180	180	180	

注) 選択科目は2年次において60時間以上履修しなければならない

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	金田 真哉
授業の目的・目標					
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。					
授業の概要					
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い、理解し合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	60%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1~12. オリエンテーション					12
13~20. 球技大会など					8
21~37. 郊外研修 (東京他)					16
38~51. 伝馬町イベントなど					16
52~60. その他学校イベント					8
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
IT活用		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	大川 直樹
授業の目的・目標					
PowerPointを使ったプレゼンテーションができるようになる。 ファッション業界の動画マーケティング事例を知り、プレゼンに導入できるようになる。					
授業の概要					
PowerPointを使ったPC/スマホのプレゼン資料作成 Adobeアプリを使ったPC/スマホの動画編集とエントリームムービー制作 アパレル・ファッション業界を想定した模擬採用試験プレゼンの実施					
成績評価の方法					
1. 最終プレゼンテーションの評価 2. 課題提出と学習姿勢				平常点	20%
				課題	80%
使用テキスト・教材					
必要に応じて資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション (学習目標の共有/Teams・Rush・PowerPoint導入/スマホ・PC設定)					2
2. ファッション・アパレルの動画マーケティングとは? (動画制作のコツと基礎知識)					4
3. ※(Adobe Rush・Spark使用)					
4. PowerPointの基本操作 とトレンドアイテムPRスライドの作成					4
5. ※(PowerPoint使用)					
6. 伝わるプレゼンとは? (PowerPoint制作のコツとプレゼントーク術)					4
7.					
8. 模擬試験に向けたプレゼンテーション制作 (希望職種設定/ストーリー構成)					4
9.					
10. 動画+PowerPoint (データ修正、発表準備)					4
11.					
12. ファッション・アパレル模擬採用試験 プレゼンテーション (リハーサル)					4
13.					
14. ファッション・アパレル模擬採用試験 プレゼンテーション (本番)					4
15.					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス論		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
単に衣服を生産し販売するというだけではなく、環境問題もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消費者のニーズを察知し、新しい考え方や技術に基づいて商品をつくり、効果的な方法で消費者に提案・購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解する。					
授業の概要					
ファッション業界で勤める上で必要な土台となる流通のしくみが理解でき、将来希望する職種で必要とする専門的な知識・技術を学びそれらを駆使して就職活動や仕事に活かす事ができる。ファッションビジネス能力検定3級取得を目指す。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 3. 検定取得 これらの要件で総合的に評価する。				平常点	20%
				課題	20%
				検定試験	60%
使用テキスト・教材					
ファッションビジネス I ファッションビジネス用語辞典 WWD JAPAN 他資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ファッションビジネスの概要 (定義と特性)					2
2. 繊維ファッション産業の流れ (企画～製造～販売まで)					2
3. ファッション消費と消費者行動 (消費者意識と行動、消費者のファッション表現)					2
4. ライフスタイルとファッション (ライフスタイルとは? TPO シーズンサイクル)					2
5. お客様の購買行動 (お客様・顧客 購買行動 購買心理のプロセス)					2
6. アパレル産業と小売産業					2
7. アパレル産業とは? (アパレルメーカー、デザイナーブランドビジネス インポート)					2
8. アパレルビジネス、ジャパン社、ライセンスビジネス)					2
9. 小売企業とは? (百貨店、量販店、専門店、チェーンストア、無店舗販売)					2
10. 筆記試験 (1～8 振り返り)					2
11. ファッション企業のマーケティング					2
12. ファッションマーチャンダイジング					2
13. ファッション流通 (流通とは? アパレルメーカーと小売企業の取引条件)					2
14. ファッション造形知識					2
15～20 ファッションビジネス能力検定3級対策 (過去問題)					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
モード史 I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	金原 陽子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。</li> <li>過去のテキスタイル技法、縫製技法などを知る。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各時代ごとの資料プリントと教科書で、服飾文化の変遷を辿り、『衣服』がその時々々の社会構造、人々の考えなどを反映したものであることを意識して学ぶ。</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 期末試験の点数 (主體的授業参加度)、 学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 評価する。			2. 平常点 3. 学習意欲 (学 これらの要件で総合的に		期末試験 65% 平常点 20% 学習意欲 15%
使用テキスト・教材					
西洋服装史 (文化服装学院編) 資料プリント					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	衣服の起源				2
2.	古代の服飾 (エジプト・ギリシア・ローマ)				2
3.	古代の服飾 (エジプト・ギリシア・ローマ) 中世の服飾				2
4.	中世の服飾				2
5.	近世の服飾 (ルネサンス)				2
6.	近世の服飾 (16世紀)				2
7.	近世の服飾 (				2
8.	近世の服飾 (17世紀)				2
9.	近世の服飾 (18世紀)				2
10.	近代の服飾 (フランス革命期～第一帝政～王政復古～七月王政)				2
11.	近代の服飾 (第二帝政、世紀末)				2
12.	近代の服飾 (アール・ヌーボー、第二次世界大戦前)				2
13.	現代の服飾 (戦後)				2
14.	現代の服飾・まとめ				2
15.	期末試験				2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションブランド研究 I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	時田 智弘
授業の概要					
<p>能動的に物事を進める力。(自らが動かなければ何もすみません。)  リサーチ力、コラージュ制作などクリエイティビティを養う。  パソコンを使って、アナログ的な手法を使って等色々な方法を考えて進めてもらいます。</p>					
授業の概要					
<p>授業スタイルは椅子に座って話を聞くという一般的なスタイルではありません。好きな、気になる、調べたいブランドを選んで、そのブランドの事を調べます。調べる方法は一人一人異なりますが、基本的にはインターネットを使って調べていきます。(店舗に足を運んで等色々な方法で。)ポイントは自発的に物事を進めていく力です。リサーチから得た情報と、生徒個人のオリジナリティを上手く組み合わせてコラージュ作品を制作します。物事を組み合わせて新しい物を創造する能力を養います。</p>					
成績評価の方法					
授業最終日にブランドリサーチとコラージュ作品の提出になります。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
コンピューター					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ブランドリサーチ、個人面談。(自己紹介を兼ねて)					4
2. 個人個人の気になるもの、コラージュに使えるもののリサーチ。					4
3. ↓パソコンを使って以外にも本、雑誌、映像など様々な媒体から					4
コラージュ作成：授業毎に一人一人(一人につき約10分ほど)					4
進行具合などを聞いて回ります。コンテ作成。					4
4. ↓必要であればイラストレーター、フォトショップを使います。(使い方のレッスン有り)					4
↓アナログ的な手法(ハサミ、のりなど画材を使って作品を作る事も可能)					4
5. ↓					2
作品提出					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マーケティングリサーチ		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	土屋 香美
授業の目的・目標					
感性マーケティング・・・共感するセンスを磨く (入門編) ・商品やサービスの目的を理解し、マーケティングの感性を育てる。 ・取り巻く環境、市場(企業)の動き、生活者の意識の変化やニーズに気づく力を養う。 ・新しい価値の提案、今後の自分のなりたい姿を描く。					
授業の概要					
・顧客を理解する、顧客目線で商品・サービスを考える ・「モノ」と「コト」をデザインする「ライフスタイルの提案」シートを作成、発表する。 ・実際の学科の活動、仕事をていく上で、この授業の学びの活かし方を考える。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度)				平常点	50%
2. 気づく力(授業内容からの自分の気づき・発見)				気づく力	16.6%
3. ワークの積極性 (学習意欲、授業に取り組む姿勢)				ワークの積極性	16.6%
3. ワーク完成度(展開力・プレゼン力を含む)				ワーク完成度	16.6%
これらの要件で総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 目的を明確にする (自分のなりたい姿を明確にする)					2
2. 目的を明確にする (商品の目的を明確にする)					2
3. 社会環境変化とユーザーの暮らしを考える					4
4. 市場変化とユーザーの暮らしを分析する					4
5. セルフマーケティング					4
6. ユーザーの目的を明確にする					2
7. ライフスタイルの提案 - モノ/コトの提案					4
8. 今後の自分のなりたい姿をまとめる					4
9. 「なりたい姿」の発表、総括					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
セールスプロモーション I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	野村 佳祐
授業の目的・目標					
プロモーションとマーケティングの関連の基礎。 小売店舗やECにおける販売促進の基本的手法と重要さの理解。					
授業の概要					
①企業マーケティングの基礎知識の習得とセールスプロモーション手法とのつながりを理解する。 ②リアルサイトの運営に携わり販売戦略を助ける販売促進ツールの重要さを理解する。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲 (授業への参加度合、授業態度) 2. 課題 (提示された課題。)				平常点	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 販売促進とは何か。					2
2. さまざまなプロモーションの手法とその意義					4
3. ECサイト、SNSにおける撮影の基礎および実践					4
4. ECサイト、SNSにおける販促計画の作成					8
5. ECサイトの運営実践					8
6. 運営における結果のフィードバック					4
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					



シラバス (授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザイン発想 I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	本野 智美
授業の目的・目標					
デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。ファッション流通業界に従事する学生にとって必要なレベルのスキルを習得成果とし、学内イベントや実習店舗、就職後の表現技法の幅を広げることを目的とする。					
授業の概要					
基本操作習得の基礎から、ショップロゴやビジュアルを用いたフライヤーなどをPCでデザインできる応用力までを学ぶ。					
成績評価の方法					
授業への取り組みと最終提出物での評価				平常点	20%
				課題	80%
使用テキスト・教材					
ガイド本、必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.					
2.	【Illustrator】 ツール等の基礎知識～オブジェクトを使った練習問題～ツール操作習得				8
3.					
4.					
5.					
6.	【Photoshop】 ツール等の基礎知識～画像加工や補正などの操作方法習得				8
7.					
8.					
9.	デザインへの応用課題：フライヤー制作～ネーミング・ロゴ・ビジュアルをレイアウト				2
10.	ショップコンセプトのアイデア出し				2
11.	ビジュアルアイデア～素材集め～完成イメージを固める				2
12.					
13.	デザイン制作～随時チェック				6
14.					
15.	クラス内講評会				2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マーチャндаイジング		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	60	2	大方 和則
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●MDの基本である5適を店舗企画の流れに沿って実践的に身につける。</li> <li>●バイイングを通して企業研究をすすめ就職活動に生かす。</li> <li>●店舗マネージメント知識を習得し、自らのキャリアアッププランを図る。</li> <li>●グループワークによる協調性とプレゼンテーション能力を身につける。</li> </ul>					
授業の概要					
<p>アパレルショップのMD企画、販売、計数管理までの一連の流れをマーケティング流れの中ですすめていく。単に利益を求めただけでなく、その利益をどのように社会に貢献していくかというCSR、CSVの観点でMD企画をすすめる。</p>					
成績評価の方法					
企画書の完成度 70% 平常点 30% (課題、出席含む) テストは行わない。				課題	70%
				平常点	30%
使用テキスト・教材					
FB2級 FA 2級 販売士2級テキストをベースに進めるが購入必須ではない。					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ファッション業界の現状 MDの業務、役割について				4
2.	現状分析 (マクロ、ミクロ)				4
3.	価値の創出 仮説 データ検証				4
4.	STP分析				4
5.	2020AWテーマ	スタイリング	2020AWバイイング①		4
6.			2020AWバイイング①		4
7.	2021SSテーマ	イメージ作成	2021SSバイイング①		4
8.			2020SSバイイング②		4
9.	SPA企画				4
10.	52週MD VMD計画				4
11.	オンラインショップ立ち上げ				4
12.	立地戦略				4
13.	3か年予算計画				4
14.	初年度月別予算計画				4
15.	ストアマネージメントについて			総論	4
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
VMD		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。					
授業の概要					
VMDは店のメッセージやブランド価値を伝え、お客様視点に基づく店づくり方法である。店舗設計において、商品の展示陳列まで計画するVMDは欠かせない技術です。VMDの基礎知識を学び、実習を通してヴィジュアルプレゼンテーションのスキルを習得する。					
成績評価の方法					
課題（提出された課題の完成度）。平常点（主体的な授業参加度）学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢） 総合的に評価するが、課題・最終課題を未提出の場合は成績評価が行われない。				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジュアル版VMD新テキスト」（テキスト）</li> <li>・その他資料等配布</li> <li>・実習時はトルソー、マネキン、衣類、演出物等使用</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. VMDの概要、商品分類、VMD分類					2
2. 陳列技術（IP）の基礎、定数定量					2
3. 陳列技術の応用					2
4. 演出技術（VP・PP）の基礎					2
5. 演出技術の応用					2
6. 店舗の見方、リサーチ方法、ゾーニング					2
7. 店舗リサーチ（フィールドワーク）					2
8. 店舗リサーチ結果共有					2
9. 商品演出のポイント					2
10. ディスプレイプランニング／実習					2
11. プランニングシートの描き方					2
12. 準備&製作／実習					2
13. 準備&製作／実習					2
14. 課題プレゼンテーション（学内）／実習					2
15. 講評&まとめ					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションデザイン画 I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	カルフォ香奈
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレルメーカーの様々なシーンで必要となるファッションデザイン画、特に企画や展示会などの資料作成に欠かせないハンガーイラスト、生地スワッチ、を理解し描けるようにする。</li> <li>・トレンドを意識したアイテムやシルエット、生地感などを意識できるようになる。</li> </ul>					
授業の概要					
<p>ファッションデザイン画について、使用目的、役割を具体的な作品、資料を紹介しながら概要を説明していく。ハンガーイラスト画では、服の構造や名称、細部のディティールの理解を深めながらハンガーイラストの表現方法をトレンドを意識しながら学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出 (作品の完成度)</li> <li>・平常点 (主体的な授業の参加度)</li> <li>・学習意欲 (グループワーク、授業に取り組む姿勢)</li> </ul>				課題	50%
				平常点	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ファッションデザイン画、ハンガーイラストの概要説明、業界での役割				2
2.	ハンガーイラストを描く				
3.	(1) 基本の描き方。				2
4.	(2) スカート・パンツなどのボトムス				4
5.	服の動き・しわなどの表現				
6.	(3) シャツ・ブラウス・ジャケットなどのトップスディティールの表現				4
7.	(4) ワンピース・アウター				4
8.	テキスタイル別の表現				
9.	トレンドとは、流れとリサーチの仕方				2
10.	グループ別にトレンドリサーチ、ハンガーイラストを含むトレンドシートを作成する				8
11.	作品プレゼンテーション (課題提出)				4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アパレル素材論 I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	金原 陽子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル製品の欠くことが出来ない要素である『素材』に興味をもち、以後研鑽していこうとする動機付けをする。</li> <li>・様々な素材の物性・感性を理解することで、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。</li> </ul>					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維から布地・製品になるまで、各過程の流れを知る。</li> <li>・前半は物性を中心に基本的知識を、後半では、特殊素材の知識を学ぶ。(販売職に就いた際のセールストークに反映出来るように。)</li> </ul>					
成績評価の方法					
1. 期末試験の点数 (主体的授業参加度)、 学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)		2. 平常点 3. 学習意欲 (学 これらの要件で総合的に		期末試験	65%
				平常点	20%
				学習意欲	15%
使用テキスト・教材					
アパレル素材論 (文化服装学院編) プリント		テキストスタイルハンドブック (文化出版局)		資料	
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 品質表示					2
2. 繊維～糸～布地に加工される流れ					2
3. 織物三原組織 編物三原組織					2
4. 天然繊維 (綿)					2
5. 天然繊維 (麻)					2
6. 天然繊維 (毛)					2
7. 天然繊維 (絹)					2
8. 化学繊維①					2
9. 化学繊維②					2
10. 化学繊維③					2
11. カットソー素材①					2
12. カットソー素材②					2
13. その他のアパレル素材①					2
14. その他のアパレル素材②					2
15. まとめ 期末試験					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
服飾造形 I		実習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	90	3	カルフォ香奈
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で活躍しているデザイナーやアーティストの作品をリサーチし、クリエイティブなビジネスに発展するためのアイデアを発想する力をつける。</li> <li>・ブランドを企画する流れの理解と、チームの一員として協力し責任をもった役割をはたせる。</li> </ul>					
授業の概要					
<p>ファッションもアート・建築・音楽との境が低くなり、知識があれば業界のあらゆるシーンで役立つことになる。これからの時代に、クリエイションとビジネスがどの様にして展開していいのか、新しいヴィジョンで創造することを学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
課題提出 (作品の完成度)				課題	80%
学習意欲 (チームワークのあり方、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	概要説明、ファッションビジネスとクリエイション。				4
2.	(1) 洋服の見せ方、店舗、インスタレーション、ウィンドー、アート、建築などリサーチ。				12
3.	・選択したテーマからアイデアを発展させて、スタイリングや写真などで表現する				18
4.	プレゼンテーション、批評会。(課題提出)				4
5.	(2) ブランドディレクションの企画をFD科と一緒に考え、プロモーションをやる。				12
	・ブランドディレクションとは、チーム編成				
6.	・ブランドコンセプトを決めるためのリサーチ /トレンド、マーケットリサーチ□				6
	/ペルソナ、価格帯設定□				6
7.	/ムードボード制作□				6
8.	・シーズンのテーマ				12
9.	・撮影				10
10.					
11.					
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
色彩学 I		講義		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
ファッションビジネスに関連する仕事を遂行する上で必要とされる色彩の基礎や配色、イメージにあったカラーコーディネート習得し、色彩検定3級合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って下記のとおり細目を設け、テーマ毎に確認テストを実施します。配色カードを使った演習を取り入れ、色感を磨きながら、6月に実施される色彩検定3級の対策として過去問題を繰り返し行います。					
成績評価の方法					
色彩検定3級の可否結果、過去問題の点数、学習意欲（欠席・遅刻日数や授業態度等）を総合評価したうえで決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
色彩検定3級テキスト 過去問題 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	色のはたらき				2
2.	光と色				4
3.	色の表示				4
4.	色の三属性				2
5.	PCCS				2
6.	色名				2
7.	色彩心理				4
8.	色彩調和				2
9.	色相配色				2
10.	トーン・配色				2
11.	色彩効果				4
12.	色彩と生活				2
13.	ファッション				4
14.	インテリア				4
15.	過去問題				20
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パーソナルカラー I		講義		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
ファッションビジネス業界におけるカラーコーディネートの重要性・関連性に基づき、パーソナルカラーの知識を身につけ、自分ブランディングからお客様にアドバイスできる力を習得します。パーソナルカラー検定モジュール1（初級レベル）合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って細目を設け、テーマ毎に確認テストを行います。配色カードやドレープ等を使った演習を取り入れ、実践力も身につけます。過去問題を繰り返し解くことで出題傾向をつかみ、苦手な問題も克服します。					
成績評価の方法					
パーソナルカラー検定の合否結果、過去問題の点数、学習意欲（欠席・遅刻日数や授業態度等）を総合評価したうえで決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
はじめてのパーソナルカラー 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. パーソナルカラーとは					2
2. 色が見える条件と感情効果					2
3. 色のしくみ					2
4. 基本の配色方法					2
5. 色彩調和論					2
6. フォーシーズン					4
7. パーソナルカラリストの診断					2
8. 自分のパーソナルカラー					2
9. コーディネート術					2
10. カラーテクニク					2
11. 過去問題					8
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					



シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション技法		講義 <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を聞くこと、人と話をするに慣れ、相手と意思の疎通を図るための会話のキャッチボールができる。</li> <li>・聞く人にわかりやすく伝わりやすい話し方の習得。</li> <li>・仕事現場を想定した報連相やディスカッションの手法を知り活用する。</li> </ul>					
授業の概要					
販売技術や接客マナーを習得する上で前提となる、「コミュニケーション」の重要性や基本的な考え方を学ぶ。学校生活のスタートにあたり、新しく出会う人たちとの信頼関係を築き、またビジネスシーンに求められるコミュニケーションスキルの基礎を体験する。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバックシートの提出</li> <li>・グループワークの取組姿勢</li> <li>・発表</li> </ul>				課題	40%
				平常点	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・配布資料					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 講座概要、「コミュニケーション」とは、ウォーミングアップワーク					2
2. ラポールスキル					2
3. コミュニケーションゲーム、質問スキル					2
4. インタビューワーク①準備編					2
5. インタビューワーク②実施編					2
6. インタビューワーク③提案ボード作成					2
7. インタビューワーク④報告会					2
8. ビジネスコミュニケーション①ディスカッション					2
9. ビジネスコミュニケーション②報連相					2
10. 「プレゼンテーション」とは、シナリオの基本形と組み立て					2
11. デリバリースキル（表現手法）、プレゼン課題説明					2
12. ミニプレゼン（課題発表）					2
13. 実践課題（スタイリングプレゼンの事前チェック&ブラッシュアップ）					2
14. 実践課題（対外プレゼンの事前チェック&ブラッシュアップ）					2
15. ↓					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客マナー I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	60	2	斎藤 千明 阿部 吉志子
授業の目的・目標					
ファッションアドバイザーの基礎知識の習得とともに、授業を通じてコミュニケーション能力の向上を図ります。					
授業の概要					
新人ファッションアドバイザーが3ヶ月で身につける基礎項目（接客の知識と技術）の習得を目指します。					
成績評価の方法					
1. 筆記試験及び授業時ミニテスト(ロールプレイング含む) 2. 平常点 (主体的授業参加度)、 3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) これらの要件で総合的に評価する。				期末試験	60%
				平常点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
◆テキスト＝「ストアマネジメントコース I」 ◆他使用教材＝DVD「F Aは素敵な仕事」「お客様の心をつかむ対応スキル」 「ミッションオブワールド」「お気に入りはいつまでも」					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 『販売職の理解』⇒「ファッションアドバイザーの1日」(DVD)を視聴。 「お客様が期待する店舗とは」のディスカッションを通じ、お客様視点に気付く。					4
2. 『基本姿勢と基本行動』⇒「ルールマナー」のチェックシート。「言葉遣い」(対お客様対応の場面)。					4
3. 『基本姿勢と基本行動』⇒「5つのテーマ」「5つの心」の体現の大切さの理解。 「お客様対応8用語」の演習。					4
4. 『基本姿勢と基本行動』⇒所作(立ち方・歩き方・物の渡し方) 『市場調査』⇒「サービスチェック」の実施。終了後内容検討。					4
5. 『商品ができるまで』⇒商品ができる過程とそこでの取組みを知る。(DVD視聴) 『接客スキル』⇒「8段階の購買心理」。「動的待機」の理解とその演習。(DVD視聴) 『接客スキル』⇒「セールストークの作り方」(演習)。「素材の基礎知識」(春夏版)。					4
6～20 接客ロールプレイング。					24
21～25 『接客スキル』⇒接客ロールプレイング発表会 (クラス内予選会)					4
26～27 『接客スキル』まとめ⇒接客ロールプレイング発表会					4
28 『基本姿勢と基本行動』(インターンシップ前)⇒受入店舗への挨拶等の準備とその演習。					4
29～30 『インターンシップ報告会』インターン経験を通じての気づきを整理し、仲間と共有する。					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ラッピング装飾		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小泉 昌代
授業の目的・目標					
商業ラッピングの基礎知識を身につけ慶弔贈答の基本的な包装ができる。『商業ラッピング3級検定試験』の合格を目指します。 『商業ラッピング3級検定試験』の合格を目指します。					
授業の概要					
日本の流通業界で顧客サービスの内容を考えるとき忘れてはいけないものにギフトラッピングがあります。接客の一環としてまた他店との差別化として重要な位置づけがされている顧客サービスのひとつです。商業ラッピング検定講座ではビジネスにおけるギフトラッピングを正しく理解し接客の中で使えるラッピングの手法を身につけること。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢・商業ラッピング3級検定試験に合格の有無				期末試験	70%
				課題	30%
使用テキスト・教材					
ラッピングテキスト3級検定用教本・箱7種 ・リボン・包装紙・熨斗紙・シール・ハサミ・カッターナイフ・セロテープ・定規					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. この検定試験の目的を理解する・道具、三大パターンの説明・合わせ包み（基本）					2
2. 合わせ包みと蝶結びの基本を理解する。合わせ包み（正方形）・リボン掛け					2
3. 合わせ包みで箱のタイプを変えた場合の対応を理解する（薄い箱・斜め掛け）					2
4. 業務用斜め包みの基本を理解する（業務用）					2
5. 丁寧な斜め包みの基本を理解する（処理あり）					2
6. ボトル型の包み方の基本を理解する（ボトルの斜め包み・風呂敷包みの応用）					2
7. 風呂敷包みの基本を理解する（長方形・正方形）					2
8. タック入り合わせ包みの基本を理解する（裏表のあるリボン）					2
9. ラッピングの歴史					2
10. 合わせ包みの理解度を高める（横一文字・縦一文字・十文字掛け）					2
11. 斜め包みの理解度を高める					2
12. 贈る文化・しきたりの基礎知識（筆記テスト）					2
13. 一定の時間の中で包む（筆記テスト）					2
14. 検定試験対策					2
15. 検定試験模擬試験					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
スタイリングワーク I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	金田 真哉
<b>授業の目的・目標</b>					
ファッションコーディネートをする上で必要な、アイテム知識、トレンド知識、色・素材・柄・感覚に視点を置いた論理的なコーディネートの基本を学び自身の表現手法の幅を広げる。2年次の対お客様や芸術的なコーディネート提案へとつなげていく。					
<b>授業の概要</b>					
ファッションコーディネートの基礎知識・技術を習得し、シルエット、ディテール、色・柄、素材などが異なる複数の服や服飾雑貨を、バランスよく組み合わせ、統一したイメージをつくりあげる事ができる。					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 平常点 (主体的授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				課題	30%
3. 実技試験				実技試験	40%
これらの要件で総合的に評価する。					
<b>使用テキスト・教材</b>					
ファッションスタイルクロニクル WWD JAPAN 他資料配布					
<b>授業内容・授業計画</b>					
					時間数
1. 2020S/S トренд解説 (5つのキーワード)					2
2. ファッションアイテム知識 アパレル分類表の理解					2
3. スタイリングイメージ分類 (マップ制作&実技)					2
4. ①クラシック ②フェミニン ③アバンギャルド ④モード ⑤ストリート					2
5. 基本シルエット分類 (マップ制作&実技)					2
6. 2020S/Sトレンドスタイリング実践 (5つのキーワード) (実技)					2
7. 2020S/S セルフプロデュース企画概要 (スタイリング企画書制作)					2
8. ①既存のブランドを選定②イメージに沿ったスタイリング構築 (ヘアメイク&洋服)					2
9. 企画プレゼン→ロケハン→撮影					2
10. 2020A/W 7days ワードローブ企画概要 (A4ファイルにてポートフォリオ制作)					2
11. ①テーマ ②コンセプト ③衣装 ④ロケーションの設定					2
12. 手持ち衣装を基礎にした構成、着用計画の作成。					2
13~15 最終回にプレゼンを実施。					6
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>	
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ヘアメイク実習 I		実習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	増田 阿貴子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアメイクの知識、基本的な技術を学び、ファッションをトータルでスタイリングする力をつける。</li> <li>・ファッションに合ったヘアメイクを学び、自己表現をの可能性を広げる。</li> </ul>					
授業の概要					
<p>メイクの基本となるアイテムや手順を学ぶ。セルフメイクを中心に、フルメイクの基礎メイクアップを習得する。同様にヘア道具の使い方からヘアの基本となる一束やピンニング、ブレイズなどのアレンジ基礎を習得する。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業意欲</li> <li>・課題提出</li> </ul>				平常点	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
配布資料・メイクパレット・ブラシセット他					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ガイダンスと道具説明					2
2. 顔分析とセルフメイク①【ベースメイク】					2
3. セルフメイク②【ポイントメイク①(アイメイク)】					2
4. セルフメイク③【ポイントメイク②(その他とブラッシュアップ)】					2
5. ストレートアイロンとカールアイロンの実技					2
6. ピンニング、ブレイドの実技					2
7. ヘアスタイル制作					2
8. スタイリングフォトに向けて					2
9. セルフスタイリングフォト①					2
10. ↓					2
11. ファッションイメージにおけるヘアメイク					2
12. 雑誌カバーのファッションフォト制作					2
13. ↓					2
14. セールスプロモーションを意識したスタイリングフォト②					2
15. ↓					2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ショップマネジメント I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	松本 眞由美
授業の目的・目標					
売り場責任者として、売上・仕入・在庫・利益等の計数管理ができる。					
授業の概要					
店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を計算演習により習得する。					
成績評価の方法					
課題提出、期末試験、授業態度を総合的に評価する。				期末試験	50%
				課題	40%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,470 出版社：日本実業出版社 ISBN-10: 4534050437 ISBN-13: 978-4534050434 発売日：2013/2/15					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 計数管理の必要性・売上高の構成要素 (演習)					2
2. 比率の計算 (売上構成比・前年対比・目標達成率)					2
3. 商品の売れ筋の把握					2
4. 利益の仕組み～値入と粗利益の違い (演習)					2
5. //					2
6. 値引きと売上高・利益額の関係 (演習)					2
7. //					2
8. 仕入・在庫と売上原価 (演習)					2
9. 売上予測の立て方 (演習)					2
10. //					2
11. 損益計算書の基本と事例 (演習)					2
12. 商品の効率・売場の効率					2
13. スタッフの働き (労働生産性・労働分配率等)					2
14. 総復習					2
15. 最終回テスト					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ショップマネジメント II		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスプランニング I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題意識」をベースにした課題発見力を身につける。</li> <li>・企画に不可欠な要素とそれを組み立てる方法を理解する。</li> <li>・ベーシックな企画書の書き方がわかる。</li> <li>・2年次の「ビジネスプランニングⅡ」に向けてのヒントを得る。</li> </ul>					
授業の概要					
<p>企画を立てる上での基本となる考え方やアプローチの仕方を学ぶ。様々な仕事場面で求められる企画作業に必要な要素として、発想力、構成力、表現力という3つの側面から学習し、企画を組み立てるプロセスとその全体像を理解できるようにする。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時のワークシート提出</li> <li>・課題提出 (ポジショニングマップ、企画書)</li> </ul>				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 講座概要説明、ウォーミングアップ課題					2
2. ビジネスプラン (2年生) 最終プレゼン見学					2
3. アイディア出し (ブレインストーミング、アイディア整理)					2
4. 現状分析と仮説作り					2
5. ターゲット設定とプロファイリング					2
6. ターゲットイメージファイル作成					2
7. マーケティングリサーチ (仮説検証)					2
8. リサーチ報告と販売促進ツールへの落とし込み					2
9. ニーズ分析とヒアリングスキル					2
10. ポジショニングマップ作成					2
11. コンセプト作り (NEEDSとSEEDS、利用シーンと消費者ベネフィット)					2
12. 企画書の書き方 (基本構成と表現手法)					2
13. 企画書課題オリエン、テーマ設定と情報収集					2
14. 企画書作成					2
15. 企画プレゼン (企画書発表&講評)					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			ビジネスプランニングⅡ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	佐々木 史
<b>授業の目的・目標</b>					
1. 次年度の就職活動に向けて、自分の特性を客観的に把握しキャリアプランを立てる。 2. 就職活動の流れを理解して、活動の準備をする。 3. ファッション業界の企業の選考方法を把握して、それぞれの選考に備える。					
<b>授業の概要</b>					
1. 自分のキャリアプランに基づいた就職目標を明確にして就職活動をスタートする。 2. ファッション系企業の選考方法への対応力を身につけ、内定確率を向上する。					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 平常点（主体的授業参加度）、 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの要件で総合的に評価する。				平常点	60%
				課題	40%
<b>使用テキスト・教材</b>					
「織研新聞」「日経流通新聞」他（資料配布）					
<b>授業内容・授業計画</b>					
					時間数
1. ファッション系企業の求人票の見方と選考スケジュール					2
2. 一般常識模擬試験					2
3. ファッション系企業の選考試験の種類と内容					2
4. 自己分析 1					2
5. 自己分析 2					2
6. キャリアプランを立てる					2
7. 作文の書き方					2
8. エントリーシート・履歴書の書き方					2
9. エントリーシート・履歴書の書き方					2
10. 就職サイトの活用					2
11. 応募書類の送り方と手紙の書き方					2
12. 面接の種類と対応 1					2
13. 面接の種類と対応 2					2
14. 就職活動の身だしなみ					2
15. ガイダンスの参加のポイントと全体の総括					2
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>	
※単元ごと演習課題を実施する。					



シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクト I		実習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
<p>商業施設やトレンド、シーズンのメッセージをどのようにお客様に届けるかという実践授業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業へのVMDプレゼンテーションの企画書、プレゼン方法を学ぶ。</li> <li>・商業施設内での全体シーズン演出のプロセスを知る。</li> <li>・VMDやトレンド、スタイリングを現場で応用する。</li> </ul>					
授業の概要					
<p>商業施設のショーウィンドウのプランニング～設営を学校1Fギャラリーにて実習。企画立案、グループワーク、プレゼンテーション、現場までの計画、予算立て、装飾物・ディスプレイツールの製作、当日の設営スケジュールまでを経験し、企業や店舗との関わりを学び、シーズン演出ができるようになる。</p>					
成績評価の方法					
課題 (プレゼンシート、店舗VMD完成度) 平常点 (主体的な授業参加度) 学習意欲 (学習意欲の有無、取組む姿勢)				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
ディスプレイツール、演出物					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. キックオフ、概要説明、グループ分け、役割分担決め					2
2. リサーチ、プランニング、現場調査					4
3. アイデア出し (ブレーンストーミング、アイデア整理)					
4. プレゼンシート作成					4
5. 完成スケッチ、サンプル製作、予算組み					
6. プレゼンテーション準備					4
7. プレゼンテーション					
8. 製作スケジュール、購入物決定					2
9. 製作、商品コーディネート					8
10.					
11.					
12.					
13. 現場設営/学校1Fギャラリー					6
14.					
15.					
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス特別実習 I		講義・ <b>演習</b>		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	萩原 和幸 伊藤 正裕
授業の目的・目標					
<p>①スタイリングワーク授業と連動しプロカメラマンによる撮影を行い就活等のポートフォリオに使用する。</p> <p>②自身の表現の幅、視野や価値観を広げる。</p>					
授業の概要					
<p>①業界の今を肌で感じ吸収し就職活動、就職後の実務に役立てる事ができる。</p> <p>②感性を高める事ができる。</p>					
成績評価の方法					
1. 学習意欲 (実習への参加度合、参加態度) 2. 課題 (提示された課題。)				平常点	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. ファッションフォト (スタイリング撮影) 萩原					時間数
					14
2. スタイリングブック撮影・制作 伊藤					
					16
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					